

新生児訪問と産後 2 週間健診の実態調査 ～褥婦の求めるニーズの把握と切れ目のない支援を目指して～

許 由希 河西久実 山根佳奈美

大阪府済生会中津病院 中 8 階病棟

はじめに

近年、少子化や核家族化、出産年齢の高齢化から産後うつや虐待が増加している。また厚生労働省からは産前・産後サポート事業ガイドラインが発表され、産後支援を強化する必要性が示された。そのことから、疲労や睡眠不足が蓄積される産後 1 ヶ月健診までの時期に、病院の受診を行う必要があり、産後 2 週間健診が各自治体の公費負担で始まった。当院では、以前から入院中のケアを通し口頭で産後訪問の希望の有無を確認し、希望した初産婦を対象に無料で産後 2 週間の時期に褥婦の自宅へ訪問する新生児訪問を実施してきた。今回、産後 2 週間健診が開始となったことで、新生児訪問に 1 週間以内に行き、その後 2 週間健診に病院に受診にきてもらうため、退院後の褥婦と関わる機会が増えた。

そこで、初産婦限定で母子訪問と産後 2 週間の両者導入の利点を活かし、褥婦のニーズや満足度を明らかにしたいと考えた。

I. 目的

本研究は、褥婦のニーズや満足度、今後の課題を明らかにし、より充実した産後ケアサービスを検討することを目的とした。

II. 方法

- 1) 対象：A病院で出産した褥婦75人
- 2) データ収集期間：令和元年9月13日～令和元年12月6日
- 3) データ収集方法：産後1か月健診時に自記式質問紙を配布し、その場で記入し回収（資料1）
- 4) 分析方法：単純集計
- 5) 倫理的配慮：目的・方法、研究への参加の自由意思、研究への参加の拒否権、プライバシーに関する配慮、データの匿名性の保持や保管に関することを説明し、質問紙の回収をもって同意を得た。

受付：令和4年6月16日

調査に先立ちA病院の倫理委員会の承認を得た。

III. 結果

褥婦75人の内、新生児訪問を受けた方は20人（26.7%）、産後2週間健診を受けた方は62人（82.7%）であった。新生児訪問を受けようと思った理由は、「赤ちゃんのことが知りたかった」が16人（21.3%）で一番多かった（表1）。新生児訪問を受けて良かったことは、「赤ちゃんの発育について知ることができた」が12人（16.0%）、「悩みを相談することができた」が10人（13.3%）などがあげられた（表2）。

表1. 新生児訪問を受けようと思った理由

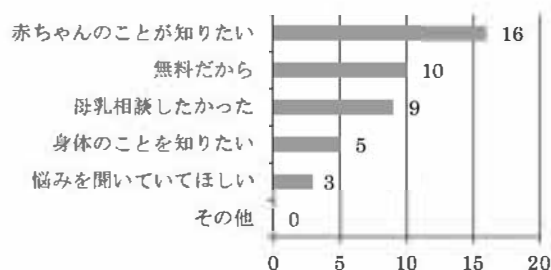
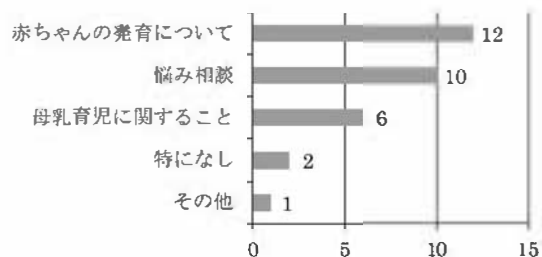


表2. 新生児訪問を受けて良かったこと



産後2週間健診を受けようと思った理由は、「赤ちゃんの身体のことを知りたかった」が39人（52.0%）で一番多かった（表3）。産後2週間健診を受けて良かったことは、「赤ちゃんの体重の確認ができた」が48人（64.0%）、「母乳の分泌量を確認することができた」が26人（34.7%）、「気分転換になった」23人（30.7%）、「悩みを相談することができた」が17人（22.7%）の

順に多かった。産後2週間健診を受けなかった理由として、「特に困っていることがなかった」が6人(8.0%)であった(表4)。

表3. 産後2週間健診を受けようと思った理由

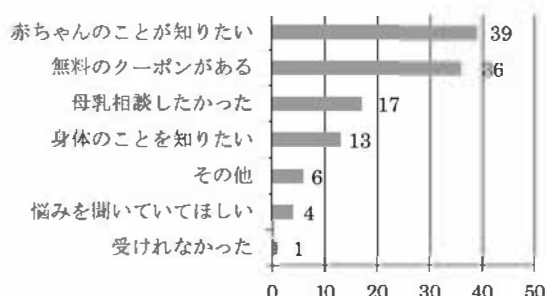
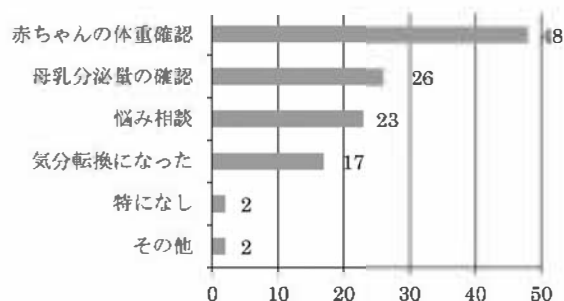


表4. 産後2週間健診を受けてよかったこと



IV. 考察

本調査での褥婦のニーズは、児の発育に関するものであり、いずれも新生児訪問と産後2週間健診で対応している内容であった。産後2週間健診と比べて新生児訪問では、助産師が自宅(実家)に出向くことにより、自宅の落ち着いた環境で1対1でゆっくりと児の発育や悩みについて話をしやすいことから「悩みを相談することができた」が「赤ちゃんの発育について知ることができた」に次いで上位であった。一方、産後2週間健診は病院で行われ、母乳量や、児の体重を知ることができる。また、児と2人だけで過ごす時間の多い褥婦にとって外出する機会を得ていることから「母乳について」と「気分転換」が受けて良かった理由の上位であった。

2019年に田村は、初産・経産とも7割以上が児に対し体重測定、発育状態の判断といった児の成長発育へのニーズが高いと述べている。産後はホルモンのバランスが崩れ、精神的に不安定な状態になりやすく、昼夜を問わない授乳や育児に追われ睡眠不足が続く。また、核家族化や高齢出産の増加に伴いサポートが得られない状況にある家庭も増加している。その状況下で

退院後に児の発育や乳房についての不安も募り、精神的に不安定な状況はさらに増強する。新生児訪問の特性として、褥婦の住み慣れている落ち着いた空間で助産師がケアを行う。一方産後2週間健診は当院へ褥婦が来院しなければならない。このことから、新生児訪問の環境は悩みが相談しやすく、産後2週間健診では褥婦が外出する機会になるため、気分転換になっていると考えられる。新生児訪問や産後2週間健診で褥婦のニーズである児の発育や母乳、悩みについて対応し、産後の精神的フォローを行うことで産後うつや新生児虐待への早期発見につながると考える。

V. 結論

産後ケアサービスを検討するために質問紙調査を行った。その結果、「赤ちゃんに関すること」など褥婦のニーズや満足内容が明らかとなった。新生児訪問と産後2週間健診を受けていない理由として「困っていない」が挙げられたが、そのような対象者にも必要とされる産後ケアサービスについて検討していく必要が示唆された。これからの産後ケアは不安の強い褥婦に対して新生児訪問と産後2週間健診を併用し回数を増やすことも有用である。今後は産後ケアサービスの特性を褥婦へ説明し、褥婦自身がそれぞれの利点を理解した上で産後ケアサービスを選択できるよう支援し、新生児訪問と2週間健診の双方の利点について褥婦に説明し、褥婦が自分の状況にあったサービスを選択できるようにすることで対象にあったきめ細やかな支援ができるよう取り組んでいきたい。

VI. 参考引用文献

1. 北野寿美代：産後の母子訪問を助産師が行うことのメリット，ペリネイタルケア，2006，25(11)：1066-1069
2. 但馬まりこ：初産婦の産後3日目から2週間健診までの生活リズム移行期における睡眠状況と疲労感の実態，母性衛生，2019，59(4)：646-654
3. 久米浩太：私はこうしている退院後の母乳育児支援—産後母子訪問を中心に—，産婦人科医療，2009，99(4)：403-407
4. 厚生労働省(2019)．妊産婦にかかる保健・医療の現状と関連施策 <https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000479245.pdf>
5. 田村知子：産後1年未満の母親の産後家庭訪問に対するニーズ，日本助産学会誌，2019，33(1)，61-71
6. 元山彩織：新生児訪問事業における効果と課題，中京学院大学看護学部紀要 8(1)：1-13，2018

母子訪問と産後2週間健診に関する
アンケートご協力をお願い（資料1）

私達は済生会中津病院の助産師許・河西・坂本です。当院では、初産婦限定で母子訪問と産後2週間の両方を導入しています。そこで、母子訪問と産後2週間健診をより良いものにするためのアンケート調査にご協力をお願い致します。またお答えいただいたアンケート結果はスタッフのもとで厳重に保管され、統計的に処理されます。個人のプライバシーの保護については十分配慮し、ご迷惑をおかけすることはありません。ご協力いただきましたアンケート結果に基づき、学会等に研究発表または提出することを予定しております。尚、研究目的以外には使用致しません。

上記の趣旨を理解いただき、率直にありのままのお考えをご回答下さい。なお、調査協力は任意であり、協力しなかったことで不利益を被ることはありません。アンケート調査への回答および用紙の提出によって、本研究への協力について同意したことみなさせて頂きます。回答には約10分程度かかり、記入に当たっては、該当箇所には☑してください。尚、記入漏れのないようお願い致します。記入されましたら、設置しております回収ボックスに投函していただくようお願い致します。

あなた自身についてお聞かせ下さい

《初産産》
初産婦 経産婦（ 人目）

《年齢》
10代 20代 30代 40代

《退院後すぐにどちらで過ごされましたか》
自宅 実家 その他（ ）

《退院後、どなたが一番サポートしてくれましたか》
夫 実母 その他（ ）

《病院まで来られるのにかかる時間はどのくらいですか》
15分以内 15分～30分 30分～60分 1時間以上

《退院時の授乳状況について教えてください》
母乳のみ 混合 ミルク

《現在の授乳状況について教えてください》
母乳のみ 混合 ミルク

2週間健診についてお尋ねします。

①2週間健診を受けられましたか？
受けた 受けていない

受けていない理由は何ですか？
クーポンがなかった 病院まで遠い
赤ちゃんを連れて病院まで来る手段がなかった
特に困っていることがなかった
その他（ ）

②なぜ受けようと思われましたか？当てはまるものすべてにチェックして下さい。

クーポンがあった 母子訪問が遠方で受けられなかった
母乳育児の相談をしたかった 赤ちゃんの身体のことを知りたかった
悩みを聞いて欲しかった 自分の身体のことを知りたかった
その他（ ）

③2週間健診を受けて一番よかったことは何ですか？

特になし
赤ちゃんの体重がわかった
母乳の量がわかった
不安や悩みについてきいてもらえた
気分転換になった
その他（ ）

④2週間健診にかかった時間は適切でしたか？
短い ちょうどよい 長い

母子訪問についてお尋ねします。

複数回答にしますか？
1つのみの回答をえらんでもらいますか？

⑤母子訪問を受けられましたか？
受けた 受けていない

受けていない理由は何ですか？
経産婦
病院から自宅(実家)まで1時間以上かかる
自宅(実家)に来てほしくなかった
特に困っていることがなかった
その他（ ）

⑥なぜ受けようと思われましたか？当てはまるものすべてにチェックして下さい。

無料だった 母乳育児の相談をしたかった
赤ちゃんの身体のことを知りたかった 悩みを聞いて欲しかった
自分の身体のことを知りたかった
その他（ ）

⑦母子訪問を受けて一番よかったことは何ですか？

特になし 赤ちゃんのことがわかった
母乳の量がわかった 不安や悩みについてきいてもらえた
その他（ ）

⑧母子訪問にかかった時間は適切でしたか？
短い ちょうどよい 長い

⑨産後2週間健診・母子訪問のどちらも受けた方にお伺いします。

どちらが先に利用できれば良かったと思われましたか？
産後2週間健診 母子訪問 どちらもよい
 それはなぜですか？（ ）

⑩全員にお伺いします。(次に)母子訪問があれば希望されますか？

希望する どちらでもよい 希望しない

⑪全員にお伺いします。(次に)2週間健診があれば希望されますか？

希望する どちらでもよい 希望しない

⑫2週間健診や母子訪問について何かご意見があればお願いします。

ありがとうございました。設置ボックスへご投函をよろしくお願い致します。